

## 研修会実施報告

平成23年度の神奈川県スポーツ指導者連絡協議会 バドミントン部会 宿泊研修会【通算18回目】が、平成24年2月25日（土）～2月26日（日）三浦市にて開催されましたので、ここにご報告申し上げます。

昨年の第17回研修会（横浜市都筑区開催予定）は、前日に起こった東日本大震災の発生により、開催できませんでした。

ここにあらためて哀悼の意を表すとともに、1日でも早く心休まる日の訪れることを、切に願っております。

今回の研修会は、三浦市バドミントン協会岡野会長を初め、出口さん他三浦市協会の関係者各位のご協力を戴き、大変有意義な研修会を無事に開催することができました。

研修会場は、三浦市総合体育館（潮風アリーナ）で部会員20名及び、午後の実技研修会には三浦市内外48名の参加者（受講生）にお集まり頂き、実施されました。

午前中は研修会に参加された部会員へ黒崎部長から挨拶のあと、役員会で事前に検討した研修内容を宮城さんが説明し、部会員相互の意識向上と内容の確認を行い、各コートに割り振られたメンバーは技術面で具体的な内容を話し合いました。

部会員でも聴きなれない言葉があり、宮城さんが普段からバドミントンに情熱を持って接している姿を強く感じました。

昼食は彩り豊かな花祭り弁当を頂戴し、春の先取りをした気分でした。

昼食後は、もう待てないと言う雰囲気です。早速コートに入って、研修内容の確認と体のほぐしを行いました。

13:00 三浦地区の一般受講生が集まり、いよいよ研修会の開始です。



13:25 定刻に柴山副部長及び、三浦市バドミントン協会岡野会長にご挨拶を頂き、古閑さん、出口さん、見原さんをご紹介いただきました。

準備体操を十分に行った後、部会員及び受講生はそれぞれに振り分けられたコートに分かれて、ノックや手投げ等、受講生の技量に合わせたレベルアップの講習となりました。

今回の研修会では、初心者及び初級者と中級者に別れ、初心初級者は指導員が個別指導を行い、小学生には飽きさせない様工夫し、中高年の方々には優しいアドバイスの中に厳しさも垣間見せ、指導員の個性が光る講習会となっていました。

中級者は今回初めての試みで、4つの研修内容（1.スマッシュレシーブとラギングバック 2.サービスとサービスレシーブ、3.ステップとコートカバー、4.前衛の役割）をそれぞれの指導員が担当し30分単位で受講生が移動して、全ての項目を研修しました。



久しぶりのしっかりしたフットワークやラケットワークを行い、翌日筋肉痛と戦ったのではないのでしょうか。

総評を宮城さんが行い、本日の研修でひとつでも実践に役立てることができたら嬉しい、とコメントされました。



アンケートを見ますと、多くの方々がもう少し時間が欲しい、個別の指導で参考になりました、さらに毎年実施して欲しいといったご意見でしたが、少数意見ではありますが、熱くなるに従い声が大きくなり、もう少しやさしいアドバイスが欲しかった、あるいは目的がはっきりしないと言うご意見も頂戴しました。

真摯に受け止め、今後の参考にしたいと思います。

部会員の皆様におかれましては、日程調整ができましたらこの研修会に是非ご参加頂き、バドミントン談義に花を咲かせたいと思います。

平成24年度の宿泊研修会は箱根方面を予定し、現在調整中です。

皆さんも楽しいひと時に、どうぞご参加ください。

最後になりましたが三浦市の岡野会長、出口事務局長さんはじめ、三浦市バドミントン協会関係者の方々に大変お世話をいただき、無事終了されましたこと大変ありがたく思い、感謝申し上げます。

どうも、ありがとうございました。